

# 市議会だより

第141号  
平成24年2月1日  
発行 坂出市議会  
編集 議会だより編集委員会  
TEL 0877-44-5022



瀬戸大橋駅伝競走大会(1月15日)

## 12月定例会

12月定例会は、11月30日から12月16日までの17日間にわたって開催されました。

今定例会では、初日に坂出市立学校条例等の一部を改正する条例案を初め、市道路線の認定や総額3億1,006万9,000円を追加する平成23年度一般会計補正予算案など15議案が提案され、坂出市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案を原案のとおり可決したほか、9月定例会で継続審査となっていた平成22年度坂出市一般会計決算を認定しました。

最終日には、関係委員会に付託され審査を経た14議案をいずれも原案のとおり可決し、また追加提案された人権擁護委員候補者の推薦について同意し、閉会しました。

### 主な掲載内容

一般質問	2~5	委員会の動き	7
議会改革の取り組み	5	議案審議結果	
主な議案の概要	6	可決した意見書	8

## 一般質問

# 市政について聞きました

12月定例会では、12月7日、8日の2日間にわたり個人による一般質問が行われ、7名の議員が市の諸課題について質問しました。

出田泰三議員  
(市民の声)

▼防災士資格取得補助制度の創設を

問 地震災害発生時に公的機関を助け、地域の応急防災活動を率先して行う防災リーダーの育成は急務であり、その代表である防災士の資格取得のための補助金取得制度を設け、積極的に人材育成に努めてはどうか。

答 : 総務部長

東日本大震災を受け、市民の防災意識とともに防災士に対する認知度も高くなってきており、防災士の養成は必要であると考えています。

資格取得の補助制度については、県内では高松市が1人2万4,000円を上限に実施しています。今後は、他市の動向を見つつ、十分に検討していきます。



総合防災避難訓練の様子

▼公文書や市民の所有する書籍・写真等で価値ある資料の保存を

問 本市では、市民が所有する書籍や写真等の中で、歴史的・文化的価値が高いものであっても、財政事情への厳しさを理由に、積極的に保存等の予算措置を講じてこなかった。その時代をうかがい知ることができる貴重な記録資料等は、幅広く残していくべきではないか。

答 : 教育部長

学校や市民等が保有する書籍、写真、映像等の歴史資料の保存については、本市の歴史風土を後世に残すために、意義のあることと認識しています。

野角満昭議員  
(日本共産党議員会)

▼TPPが本市に与える影響は

問 野田首相は、国民世論を無視し、11月にTPP交渉参加を表明したが、関税が撤廃されると農業を中心大きな影響を受けると予測される。TPP交渉参加についての市長の見解と本市の農業が受ける影響は。

答 : 市長

私の見解としては、各産業において国際競争力をつけると同時に、このTPP交渉参加により国内産業に悪影響が出ないように、まずもって国が抜本的な措置と新たな仕組みを構築すべきであると考えています。

また、TPP参加により関税が撤廃された場合の農業へ与える影響としては、昨年、県が県内で主に影響を受けると想定される農産物10品目の生産減少額は264億6,000万円と試算しています。

これをもとに本市の農業生産額の試算を行つたところ、特に影響の大きいとされる品目の中から、米については、約99%の7億円の減収になります。

▼同和行政の終結を

質問の主な項目

- ・防災対策について
- ・市民ボランティアについて
- ・文書館構想について

野角満昭議員  
(日本共産党議員会)

▼同和行政の終結を

質問の主な項目

- ・市長の政治姿勢について
- ・水道行政について
- ・同和行政について

東山光徳議員  
(新政会)



カーブ付近の安全対策

▼県道高松坂出線の交通安全対策の推進状況は

問 県道高松坂出線は、平成23年3月の無料化により交通量が大幅に増えている。

地元関係団体より、信号機の改良等の交通安全対策について要望が出されているが、現在の実施状況と今後の見通しは。

答 : 市民生活部長

これまでに危険箇所へ減速マークや速度落せの路面標示、橋の工作物への反射材設置等の交通安全対策を実施しています。また、五色台トンネルについても、県において照明灯の電球交換、出入口付近への減速マークの設置等を行っています。

感知式信号機への改良は、今後4車線化整備時に市道との交差点改良もあわせて行つた上で、県交通政策課に申請手続きを行つてきます。

#### 質問の主な項目

- ・農業行政について
- ・観光行政について
- ・道路行政について

▼五色台観光の推進を

若杉輝久議員  
(公明党会)

▼世界遺産登録を目指す県は、白峯寺と根香寺を結ぶ遍路道をモデル地区とし、詳細調査終了後、文化庁に史跡指定を申請すると聞いています。

本市も、県と協力して五色台観光に取り組む必要があるのではないか。また、市制施行70周年記念事業として、白峯寺から根香寺までの四国道ウオーカーを実施してはどうか。

答 : 副市長

五色台は、豊かな自然を保有し、風光明媚な瀬戸内海を望める景勝地であるとともに、崇徳上皇ゆかりの地である白峰御陵などの文化財施設を有しており、「古のロマンのまちさかい」を掲げる本市にとって欠かせない重要な場所です。

来年、市制施行70周年を迎えるという状況を踏まえ、この好機を最大限に活用し観光の振興を図ることが重要であると考えています。五色台の持つ魅力、歴史、文化などを活用したイベントや町歩きルートの計画等を積極的に進めていく考えです。

**脳脊髄液減少症とは**  
交通事故やスポーツ外傷等で身体に強い衝撃を受け、脳脊髄液が漏れ出し減少することで、脳の働きに異常をきたし、起立性頭痛や全身倦怠等の慢性的な症状をもたらすもので、外見的症状が出にくいためから医学的にも長く認知されてこなかった。

▼市広報を電子書籍化しては

若杉輝久議員  
(公明党会)

問 本市に限らず、自治体広報紙の多くは紙媒体として各家庭に配布されるほか、PDF化してホームページにも掲載している。しかし、普段は画面が小さいため、PDFでは及が進むスマートフォン等の携帯端末は画面が小さいため、PDFでは

今、急速に広まっている電子書籍化を検討してはどうか。

答 : 総務部長

現在、「広報さかい」は、公式ホームページ上でPDF形式により書籍「子どもの脳脊髄液減少症」を各小中学校に配布してはどうか。

答 : 教育長

県教育委員会は、平成21年度から教職員、学校医等の学校保健関係者を対象にした学校保健研修会において脳脊髄液減少症の周知、啓発の研修を実施しています。

「提案の書籍は、学校現場の理解を促進するために有効な方法の一つである」とから配布していきます。



広報さかい

#### 質問の主な項目

- ・防災対策について
- ・情報化について
- ・福祉施策について

▼市広報を電子書籍化しては

**若谷修治議員  
(市政の窓)**



台風2号による冠水

▼不動川水系の早期整備を

問 江尻・西庄地区では、5月の台風2号や9月の台風15号の大霖により、各所で田畠への浸水や道路冠水が発生した。横津川・不動川水系全体の中、抜本的な対策を講じる必要があると思うが、今後の整備計画の考えは。

答 : 建設経済部長

これまでに堆積土砂の撤去や泥だれ設置による河床整備、また石積み護岸をブロック積み等で整備しました。さらには坂江水門7門の全電動化を完了し、引き続き江尻陸水門の電動化を現在施工中です。

今後も綾川へのバイパス放流を含め、不動川整備の事業化に向けた整備計画の策定に取り組むとともに、支流の用排水路についても調査検討を行い、土地改良区等の関係機関の協力を得る中で、改修工事等の早期着手に努めます。

▼瀬戸内国際芸術祭に向けて  
「積極的な連携を」

問 2013年の瀬戸内国際芸術祭は、新たに沙弥島など中・西讃の島を加えた11島で開催することが決まった。沙弥島での開催にあわせ、坂出市民美術館でも連動した企画を行えば、坂出しさをアピールする絶好の機会となる。

答 : 市長

瀬戸内国際芸術祭に、関係自治体として坂出市や市民美術館が連携していく考えは。

本市としては、今後瀬戸内国際芸術祭実行委員会の委員として参画する予定です。

**質問の主な項目**

- ・安全、安心の町づくりについて
- ・文化芸術の振興について

**齊藤義明議員  
(市民の声)**

▼事業再検討会に市民の参加を

問 昨年度より、若手職員を中心にして事業再検討を実施し、かなりの実績を上げている。しかし、次第に意見が遠慮がちになったり、マンネリ化していくことも懸念される。

答 : 市長

事業再検討会のメンバーに新たに市民を加え、議論することにより、職員とは違った切り口や大胆な発想が得られ、無駄を徹底的に省く本来の行政改革に近づくのではないか。

今年度は、各班が担当する対象事業を前年度の半数程度の6事業に減らし、平均で8回程度の班会議を行っており、引き続き関係機関等との連携を深め、市民一丸となつて実りある芸術祭に向けて、協力体制の構築に努めます。

教育委員会としても、市当局と十分協議しながら積極的に取り組んでいきます。

**質問の主な項目**

- ・市民参加について
- ・市立病院について

▼新市立病院の事業収支は

問 新病院の基本構想・基本計画における事業収支は、人口や患者数の将来推計をもとに構築されている。事業収支計画において、将来人口が減少していく中で、入院患者数が増えているのは、少し楽観的な予測となっていないか。

答 : 市立病院事務局長

本市および中讃保健医療圏の将来人口は減少していくものの、高齢人口の増加が見込まれることから、入院受療率が今後も一定であれば、現状並みの入院需要は続くと見込まれ、この推計に基づく入院患者数に医師の強化や新設を行う診療科について所要の人数を加えたものが計画の入院患者数となっています。

問 実態に応じて事業収支計画を、適宜見直していくことが必要ではないか。

答 : 市立病院事務局長

その時々の医療情勢を勘案しながら検証を行う中で、弾力的に対応していきます。



**質問の主な項目**

- ・市民参加について
- ・市立病院について

## 吉田耕一議員 (新)政議員

### ▼坂出港の港湾管理の強化を

**問** 港湾施設の利用の効率化を図るために、市が岸壁の利用状況を詳細に把握し調整するなど、坂出港の管理強化を行ってはどうか。

**答** : 市長

港湾を適正に運営することは、船舶動静情報をリアルタイムで把握できる体制が必要であると考えています。

坂出港の競争力の強化を図るため、これまで民の視点や技術を生かせる埠頭経営に向けた研究検討を行つてきました。

本年8月より、その第一歩として、西岸壁改修工事に伴い使用中止となつて利用岸壁の調整を、実績を有する企業に委託し、適切な岸壁の指定や関係者と調整方法を協議する等の実務を始めています。

現在は、港湾の効率的な運営を支えるための港務所支援業務の一部委託ですが、今後、拡大・充実に向け進めていく考えです。

### ▼3学期制の要望書への対応は

**問** 本市の小中学校が2学期制を導入したのは、学校週5日制による学力低下を心配し、授業時間を確保す

るためであった。しかし、季節の区切りがない、定期試験の範囲が広すぎるといった問題点から、8月に、

県中学校長会が各市町教育委員会に對し、3学期制に戻すことを求める要望書を提出したと聞いています。

この要望に対し、教育委員会としてどのように対応する考えか。

**答** : 教育長

子どもたちの指導に直接かかわる

学校現場の校長が、学校運営上課題を感じていることであり、要望を真摯に受け止めています。

現在、教育委員会内に2学期制内評価委員会を立ち上げ、2学期制の評価に取り組んでいるとのことです。その結果を待つて、適切に対応していきます。

いずれにしても、小学校を含め、望ましい学期制のあり方については、学校現場の意向や保護者の意見等を幅広く聞きながら、慎重に進めていきます。

一般質問の詳細や過去の質問については、市議会ホームページの会議録検索システムでご覧いただけます。(2月末に更新予定です)

### 質問の主な項目

- ・ 港湾行政について
- ・ 教育行政について
- ・ 行財政改革について

## 議会基本条例制定に向けた取り組み

近年の地方分権の流れの中で、議会が二元代表制の一翼を担い、市民の意思を代表する機関として、その責任を十分果たすためには、議会も積極的に改革を行い、議会機能を充実し発展させていかなければなりません。

こうした中、昨年の6月に議長から諸問を受けて、議会運営委員会を中心に、議会基本条例の制定に向けた検討を重ねてきました。

7月には、県内の市議会で最初に議会基本条例を制定した観音寺市議会を議会運営委員会が視察し、篠原広報広聴委員長から条例制定までの取り組みや条例の内容、条例に基づき開催している議会報告会等の説明を受け、各委員が疑問点について活発な質疑を行いました。

また、8月には元栗山町議会事務局長の中尾氏を招いて議員研修会を開催し、全議員が議会基本条例に対する認識を深めました。

さらに、議会基本条例に関して先進的な取り組みを行っている兵庫県加西市、京都府京丹後市、京都府亀岡市を10月に視察し、本市議会が条例制定を行う上で課題点や議員自らの積極的な活動につ

いて研修を行いました。  
本市議会では、これまでに議会運営委員会を何度も開催し、議会改革の方向性や議会の活性化などについて、各委員が闘争に意見を交わしながら、検討を行つております。

今年度中には、市民の皆さまの意見も踏まえながら、本市の議会運営の基本となる議会基本条例が制定できるよう全力で取り組みます。  
引き続き、市民の皆さまの「理解」と「協力を」お願い申し上げます。

### 議会基本条例とは



議会基本条例は、地方議会運営の基本的原則を定めたもので、平成18年に施行された北海道栗山町の栗山町議会基本条例が最初です。市民に開かれた信頼される議会をつくるため、議会基本条例には、市民と議会の関係や、意思決定機関としての議会の機能や役割が明記されています。

# 一般会計補正予算案など 16 議案を可決しました。

9月定例会で継続審査としていた一般会計決算を認定しました。

12月定例会では、市長から条例改正案5件、市道の認定などの議案2件、人事議案1件、補正予算案8件の計16件が提案されました。

主な議案の概要は、以下のとおりです。

(審議結果は8ページをご覧下さい。)

- 提案された条例案の主な内容については、次のとおりです。

- 香川県人事委員会勧告等に準じ、職員の給料月額を4月に遡り、平均0・2%引き下げるものです。

## 市道の廃止・認定

●予算関係●  
市道釜屋浦2号線の一部区間を廃止するのに伴い、一日、回路線を廃止し、新たに釜屋浦2号線および釜屋浦3号線として認定するものですが、補正予算案については、一般会計のほかに特別会計、市立病院と水道の2事業会計でした。

補正予算案については、一般会計のほか5特別会計、市立病院と水道の2事業会計でした。一般会計補正予算案については、3億1,000万9,000円を増額し、補正後の予算総額を252億1,367万2,000円とするものです。

・中央公民館移転事業

(中央公民館移転に伴う改修負担金及び移設経費) 4,883万5,000円

## ・オリーブ生産拡大推進事業

・地域子育て創生事業

(西大浜・東大浜・鎌田池公園への遊具等の設置  
とオープニングイベント開催)

3,000万円

系列關係

質疑の主な内容については、次のとおりです。

## 議案に対する質疑

11月30日	本会議	提案説明 議案質疑・討論・採決 決算審査特別委員長報告 委員長報告への質疑・ 討論・採決 議会運営委員会の審査	12月6日	本会議	議案質疑 議案の委員会付託 議会運営委員会の審査	12月7日	本会議	一般質問（個人）	12月8日	本会議	一般質問（個人）
12月16日	議員総会 本会議	委員長報告 委員長報告への質疑・ 追加議案の提案説明 質疑・討論・採決	12月13日	委員会	総務消防委員会の審査	12月12日	委員会	市民建設委員会の審査	12月9日	委員会	教育民生委員会の審査 議会運営委員会の審査

# 委員会の動き

各委員会では、12月定例会で付託された14議案について、それぞれ審査を行いました。主な内容は、次のとおりです。

本市は、平成24年7月1日に市制70周年の節目の年を迎えることから、これを多くの市民とともに祝い、市勢のさらなる躍進を期し開催する記念式典においてビデオ映像を上映するため、企画、構成、撮影や編集等の制作を香川テレビ放送網に委託し、また式典出席者や市内の小学校、各種団体等にDVDを配布する予定であるとの当局の説明を受け、委員より、式典に限定した内容にとどまらず、歴史、文化、観光等の本市がもつ魅力を幅広く盛り込み、観光PRに資してはどうかという意見がありました。

また、個人住民税の寄附金税額控除の適用下限額の引き下げや市民税等に係る不申告に関する過料上限額の引き上げなどについて改正する坂出市税条例等の一部を改正する条例制定を含め、当委員会に付託された議案は、いずれも異議なく可決すべきものと決しました。

## 総務 消防

## 教育 民生

## 市民建設

### ▼一般会計補正予算案を了承

### ▼中央公民館の移転を了承

### ▼市内の公園に遊具の整備を

## 坂出港西埠頭地区整備事業の現地視察を実施

市民建設委員会は、11月4日に坂出港西埠頭地区を現地視察しました。

この整備事業は、坂出港西埠頭地区の老朽化した西岸壁の機能回復と合わせて、東南海・南海地震等の大規模地震発生時の緊急物資等の輸送機能を確保するため、2バースのうち1バースを耐震岸壁とする岸壁改良工事を行っています。平成23年度は、ケーンソングを据えつける予定です（全体の据えつけ数は17函）。

平成26年度からの供用開始を目指して整備しています。

当局からは、当該事業の期限が今年度末となっており、現時点で他の整備計画はないが、今後同様の補助制度があれば、活用して遊具の整備を図っていきたいとの答弁がありました。

関連して他の委員より、予算に経営環境が変化することも考えられ、そうした場合の対応を検討することや、費用の軽減に向けイオン側と協議するなど、契約締結に当たっては万全を期するよう要望しました。

また、当委員会に付託された議案は、いずれも異議なく可決すべきものと決しました。

また、当委員会に付託された議案は、いずれも異議なく可決すべきものと決しました。



西岸壁に据えられるケーンソング  
(幅8.2m×高さ11m 重量972トン)

## 平成23年12月定例会審議結果一覧

議案番号	件 名	付託委員会	結 果
認定第1号	平成22年度坂出市一般会計決算認定について	決算特別	認 定
議案第24号	坂出市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について		原案可決
議案第25号	坂出市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例および坂出市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	総務消防	原案可決
議案第26号	坂出市税条例等の一部を改正する条例制定について	総務消防	原案可決
議案第27号	坂出市立学校条例の一部を改正する条例制定について	教育民生	原案可決
議案第28号	坂出市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	教育民生	原案可決
議案第29号	市道路線の廃止について	市民建設	原案可決
議案第30号	市道路線の認定について	市民建設	原案可決
議案第31号	平成23年度坂出市一般会計補正予算(案)(第3号)	総務消防	原案可決
議案第32号	平成23年度坂出市国民健康保険特別会計補正予算(案)(第1号)	教育民生	原案可決
議案第33号	平成23年度坂出市下水道事業特別会計補正予算(案)(第1号)	市民建設	原案可決
議案第34号	平成23年度坂出市介護保険特別会計補正予算(案)(第2号)	教育民生	原案可決
議案第35号	平成23年度坂出市介護保険介護予防支援事業特別会計補正予算(案)(第1号)	教育民生	原案可決
議案第36号	平成23年度坂出市後期高齢者医療特別会計補正予算(案)(第1号)	教育民生	原案可決
議案第37号	平成23年度坂出市立病院事業会計補正予算(案)(第2号)	教育民生	原案可決
議案第38号	平成23年度坂出市水道事業会計補正予算(案)(第1号)	市民建設	原案可決
諮詢第1号	人権擁護委員候補者の推薦について		同 意

（参考）議案第35号 平成23年度坂出市介護保険介護予防支援事業特別会計補正予算(案)(第1号)の概要



傍聴しましょう!  
議会の本会議を傍聴しませんか  
一般質問は、KBNで放映します。  
本会議の会議録は、図書館または市議会ホームページで公開しています。  
詳しくは議会事務局(44-5022)へおたずねください。

1月		11月	
18日	9日	10日	11日
京都府南丹市 (新設統合小学校)	静岡県三島市 (企業立地優遇制度)	埼玉県東松山市 (市立病院の経営改善) (きかいでフランド認定制度)	石川県小松市 (鹿児島県薩摩川内市 (学校再編整備計画))

**◎人権擁護委員候補者**  
 塩瀬敦子  
(敬称略)

**12月定例会で  
同意した人事案件**

議会だより編集委員会		編集後記	
委員長 出田泰二	副委員長 松成国宏	委員 植條敬介	(出)
末包保広			

東日本大震災の発生からもうすぐ1年が経とうとしています。が、復興への歩みは遅く、放射線被曝に苦しむ福島に至っては、昨年末で約6万2,000人が県外へ避難するなど、いまだに復興復旧のめどすら立っていません。「国会は一体何をやっているのか」と怒りをあらわにした児玉東大教授の言葉の重みに比べ、重責を担うべき政治家の言動がありにも軽すぎると言ふのが感じているのではないかと思います。

戦後の日本を支えてきた社会構造や価値観が大きく変わり始めた今、坂出市議会も議会基本条例の制定に向けて議論を重ねています。

「市民のために」という言葉の重みを今一度がみしめながら、皆さんの声に真摯に耳を傾けていただきたいと思います。